

# 日本放送協会 理事会議事録

(平成27年 8月25日開催分)

平成27年 9月18日(金)公表

<会議の名称>

理事会

<会議日時>

平成27年 8月25日(火) 午前9時00分～9時20分

<出席者>

榑井会長、堂元副会長、塚田専務理事、吉国専務理事、板野専務理事、  
福井専務理事、森永理事、井上理事、浜田技師長、今井理事、  
坂本理事、安齋理事  
上田監査委員

<場所>

放送センター 役員会議室

<議事>

榑井会長が開会を宣言し、議事に入った。

付議事項

## 1 審議事項

- (1) 第1243回経営委員会付議事項について
- (2) 中央放送番組審議会委員の委嘱について

## 2 報告事項

- (1) 地方放送番組審議会委員の委嘱について
- (2) 非現用不動産の売却について

(3) 予算の執行状況（平成27年7月末）

(4) 契約・収納活動の状況（平成27年7月末）

## 議事経過

### 1 審議事項

(1) 第1243回経営委員会付議事項について  
(経営企画局)

本日開催される第1243回経営委員会に付議する事項について、審議をお願いします。

付議事項は、議決事項として「中央放送番組審議会委員の委嘱について」です。また、報告事項として「非現用不動産の売却について」、「契約・収納活動の状況（平成27年7月末）」、「予算の執行状況（平成27年7月末）」、および「地方放送番組審議会委員の委嘱について」です。

(会 長) 原案どおり決定します。

(2) 中央放送番組審議会委員の委嘱について  
(坂本理事)

中央放送番組審議会委員の委嘱について、審議をお願いします。

秋池玲子氏（ボストンコンサルティンググループ シニア・パートナー & マネージング・ディレクター）と、谷口肇氏（前 全国農業協同組合中央会 専務理事）に、平成27年9月1日付で再委嘱したいと思います。

本件が了承されれば、本日開催の第1243回経営委員会に諮ります。

(会 長) 原案どおり了承し、本日の経営委員会に諮ります。

### 2 報告事項

(1) 地方放送番組審議会委員の委嘱について  
(坂本理事)

地方放送番組審議会委員の委嘱について、報告します。

関東地方で野老真理子氏（大里綜合管理株式会社 代表取締役）に、四

国地方で松島裕彦氏（四国旅客鉄道株式会社 常務取締役総務部長）に、平成27年9月1日付で新規委嘱します。

また、近畿地方で小島多恵子氏（公益財団法人サントリー文化財団 上席研究員）に、九州沖縄地方で井上龍子氏（八幡駅前開発株式会社 代表取締役社長）、平田大一氏（公益財団法人沖縄県文化振興会 理事長）、および深川一太氏（深川製磁株式会社 代表取締役社長）に、東北地方で伊藤一弘氏（NPO法人かなぎ元気倶楽部 専務理事）と、畑中みゆき氏（NPO法人High-Five 理事長）に、同日付で再委嘱します。

なお、関東地方の秋田典子氏（千葉大学大学院園芸学研究科 准教授）と、四国地方の新井裕史氏（四国電力株式会社 常務取締役）は、任期満了により平成27年8月31日付で退任されます。

本件は、本日開催の第1243回経営委員会に報告します。

## （2）非現用不動産の売却について

（経理局）

非現用不動産の売却について、報告します。

東京都世田谷区の下馬寮の建物付き土地227.06㎡について、一般競争入札を行った結果、売却先を株式会社メデュームに決定し、平成27年7月28日付で売買契約を締結しました。売却価額は、1億6,708万円で、不動産鑑定機関による評価額を上回る金額での売却となります。

本件は、本日開催の第1243回経営委員会に報告します。

## （3）予算の執行状況（平成27年7月末）

（経理局）

平成27年7月末の予算の執行状況について報告します。

最初に、一般勘定の事業収支の全体概況を説明します。7月末の標準進捗率は33.3%（4か月／12か月）です。事業収入は2,273億円で、進捗率が33.3%、事業支出は2,138億円で、進捗率が31.6%となり全体として堅調な状況となっています。この結果、事業収支差金は135億円の黒字となっています。

一般勘定の事業収支を前年同月と比較すると、事業収入は受信料の増収等により、39億円増の2,273億円となりました。事業支出は、給

与等が減となった一方で、国内放送費や国際放送費等の増により、前年同月と比べ35億円増の2,138億円となり、事業収支差金は4億円増の135億円となっています。

受信料の状況については、受信契約件数の増加により、前年同月に比べ、43億円増加しました。

最後に、放送番組等有料配信業務勘定の状況です。事業収入は、前年同月と同規模の6.2億円となりましたが、標準進捗率を下回っています。事業支出は、6.1億円となり、効率的な業務実施により、標準進捗率を下回りました。この結果、事業収支差金は0.05億円の黒字となっています。

本件は、本日開催の第1243回経営委員会に報告します。

(井上理事) 今年度予算を大きく増額した国際放送は、事業支出が前年同期を上回ると思いますが、標準進捗率を下回っている要因は何ですか。

(経理局) 予算の執行状況は年度後半に支出が進む傾向があります。国際放送については、サービス強化が進み、現在のところ順調な進捗だと捉えていますが、今後も注視していきたいと思えます。

#### (4) 契約・収納活動の状況 (平成27年7月末)

(営業局)

平成27年7月末の契約・収納活動の状況について報告します。

まず、第2期(6月・7月)の受信料収納額は1,086.8億円で、前年同時期を24.9億円上回りました。年間累計は2,139.8億円となり、前年同時期より52.0億円の増収となっています。

前年度分回収額は9.6億円となり、前年同時期を0.5億円下回り、年間累計は36.1億円と、前年同時期を3.2億円下回っています。前々年度以前分回収額は5.3億円となり、前年同時期を0.9億円下回り、年間累計は10.3億円と、前年同時期を1.9億円下回っています。

次に、第2期の受信契約総数の増加状況は、取次数が前年同時期を2.1万件上回り、減少数は1.3万件上回ったため、差し引きの増加数は前年同時期を0.8万件上回る6.7万件となりました。年間累計増加数は

19.3万件となり、前年同時期を2.1万件下回っています。7月末の受信契約件数は3,945.1万件となっています。

衛星契約数増加は、取次数が前年同時期を1.5万件下回り、減少数は1.9万件上回ったため、差し引きの増加数は前年同時期を3.4万件下回る12.0万件となりました。年間累計増加数は30.2万件となり、前年同時期を3.5万件下回っています。7月末の衛星契約件数は1,901.2万件となり、契約数全体に占める衛星契約の割合は、48.2%となっています。

口座・クレジットカード支払い等の増加数は、前年同時期を2.4万件下回る9.7万件的増加で、年間累計増加数は24.5万件となり、前年同時期を6.8万件下回っています。7月末の利用率は89.3%となっています。

また、第1期の未収数削減については、前年同時期を1.6万件下回る1.9万件的削減となりました。年間累計では2.8万件的削減となり、前年同時期を3.4万件下回っています。その結果、7月末の未収現在数は、120.3万件となり、未収割合は3.0%となっています。

最後に、支払い数増加の実績は、前年同時期を0.8万件下回る8.6万件となりました。

本件は、本日開催の第1243回経営委員会に報告します。

以上で付議事項を終了した。

上記のとおり確認した。

平成27年 9月15日

会 長 靱 井 勝 人